



# 総務協働委員会報告

- 事業評価の対象

- ① 交通安全啓発事業、みよし市安全なまちづくり推進協議会補助事業
- ② 防災訓練開催運営事業



みよし市議会



# 交通安全啓発事業、みよし市安全な まちづくり推進協議会補助事業

- ・主な事業内容

- ① 春・秋の全国及び夏・年末の県民運動を通じて、市内の**主要交差点や通学路において立哨活動を実施**
- ② 市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校での**交通安全教室**、三好高校での自転車交通安全教室を開催
- ③ 自転車乗車用ヘルメットの購入費に対して**補助金**



# 分科会の評価

- ・交通事故のないまちづくりは市民誰もが願う重要なテーマ。
- ・交通安全立哨活動などの**啓発事業の活動を通じて、安全意識の向上を目指す必要**がある。
- ・自転車事故防止のため、**ヘルメットの購入補助は意義**がある。
- ・事業の有効性や成果については、**少しの効果しか見いだせていない**。立哨活動についてはマンネリ化や立哨場所の**見直しもされていない**。



# 分科会の提案

- ・立哨活動を継続進化させるにはテーマに合わせた**グッズの統一化**が必要
- ・**立哨活動は**交通量や歩行者数の多い交差点、時間帯などを選ぶなどの方法に**見直す時期**
- ・ヘルメット購入補助は効果があり、**継続的な実施と効果の検証**を行う
- ・**交通安全教室**については、**今後も継続的**に行う



## 防災訓練開催運営事業

- ・ 主な事業内容

- ① 市民の防災意識の高揚を図るため、地区自主防災会による防災訓練を実施
- ② 新型コロナ感染症拡大予防のため、安否確認訓練を実施
- ③ 災害時等の愛知県防災ヘリコプター運営協議会からの受援体制を継続



# 分科会の評価

- ・市民には安全なまちという認識が広がっている
- ・南海トラフ大地震や集中豪雨など、防災・減災意識の向上が課題であるが、それを支える**自主防災会の活動は低調**である
- ・避難訓練等も形式的であり、**参加者や訓練内容も固定化**し実効性に欠ける
- ・子どもや高齢者が**気軽に参加できる訓練**への転換
- ・地域防災の指導者となる**防災リーダーの養成**についても積極的に進める必要がある



# 分科会の提案

- ・ **自主防災会は区役員が兼務**している行政区が多く、任期も1年が多い。
- ・ 自主防災会の活動を強化するためには、**防災リーダーを中心とした複数年任期の体制**を構築する必要がある。
- ・ **防災リーダー等の育成強化**と専門知識の習得が必須である。民間資格である**防災士の取得に補助**を行うことも検討
- ・ 自主防災会相互の連携のため、**連合会も組織**する必要がある。
- ・ **大幅な見直しが必要な時期に来ていることを認識すべき。**